

取扱説明書

液晶カラーモニター

形式LL-T1502T

ページ

もくじ

はじ

接 電源/

タッチ

画面

補

	安全にお使いいただくために	3
めに	付属品の確認	5
	各部の名前とはたらき	6
	接続・電源入/切	8
	コンピュータの接続	8
続	シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)	8
、切	電源の接続	8
	電源の入れかた	9
	電源の切りかた	9
	タッチパネルの使用準備	10
パネル	タッチパネル用ドライバソフトのインストール	10
	タッチパネルの操作について	10
	画面調整について	11
	調整値のリセット	11
	調整ロック機能	11
調整	バックライトの明るさ調整	11
	画面調整	12
	画面の自動調整	12
	画面の手動調整	13
	お手入れ・保管・アフターサービスについて	16
	お手入れのしかた	16
	保管にあたって	16
P	故障かな?と思ったら	16
Æ	アフターサービスについて	17
	お客様ご相談窓口のご案内	18
	仕様	19
	セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)	21
	. ,	



この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。 この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。 この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してくだ さい。

本モニターに使用している TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の 一部に常時点灯する微細な点や点灯しない画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のム ラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありません ので、あらかじめご了承ください。

長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。

輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。

コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。

本機は、日本国内用です。海外では使えません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この 装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすこ とがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響 を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。 この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。 この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。 なお、くわしくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談く ださい。

本書の表記について

本書では、Microsoft Windows XP Home Edition と Microsoft Windows XP Professionalを 「WindowsXP」、Microsoft Windows Millennium Editionを「WindowsMe」、Microsoft Windows 2000を「Windows2000」、Microsoft Windows 98を「Windows98」、Microsoft Windows 95を 「Windows95」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記してい ます。

Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。 そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い

この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあ げの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。

お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって 受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、 あらかじめご了承ください。

この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。 その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分 しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



人が死亡または重傷を負う恐れが ある内容を示しています。

▲ 注意

人がけがをしたり財産に損害を受 ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味(絵表示の一例です。)

⚠ 記号は、気を付ける必要が あることを表しています。 **9**記号は、してはいけない ことを表しています。 記号は、しなければならない
 ことを表しています。



安全にお使いいただくために



付属品の確認

付属品を確かめてください。

万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。



梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。

アプリケーションディスク内のユーティリティプログラムの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可な く複製しないでください。

タッチパネル用ドライバは、タッチパネル・システムズ社開発のマウスエミュレーションソフトウェアです。 タッチパネル用ドライバの著作権は、タッチパネル・システムズ社、米国 Elo Touchsystems 社に帰属しま す。

各部の名前とはたらき





MENU ボタン

調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。

SELECT ボタン

調整メニューが表示されているとき、調整項目の選択に使います。

◀▶ ボタン

調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさを調整します。

電源ボタン(ランプ)

ボタンを押して、電源の入 / 切を行います。通常表示時はボタンの周囲が緑色に、パワーセーブ時はオレンジ 色に点灯します。

シリアルコネクタ(タッチパネル用) 付属のシリアル接続ケーブルで、コンピュータのシリアルコネクタと接続します。

盗難防止ホール(🕅)

市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。 盗難防止ホールは、Kensington社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

通風孔

通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

AC アダプター

スタンドの中に AC アダプターが収納されています。

アナログ信号ケーブル

コンピュータのアナログ RGB 出力端子に接続します。

操作ボタンカバーについて



誤操作防止のために、操作ボタン部分にカバーを取り 付けることができます。



操作ボタンをよく使われる場合は、カバーを外し てお使いください。

カバーの外しかた

カバーは、非常に固くて外れにくくなっています。下 図の 印付近を強く押さえながら、下げてください。



角度調整

見やすい角度に調整します。

!ご注意

ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を 持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加え ると、破損の原因になります。





!ご注意

接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切っ た状態で行ってください。

ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わら ないようにしてください。断線などの故障の原因に なります。

コンピュータの接続



コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあ

と、両側のネジで固定します。

シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)

タッチパネルを使用する場合は、付属のシリアル接続 ケーブルでコンピュータのシリアルコネクタ(D-sub 9 ピン 2 列)と接続します。



コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあ と、両側のネジで固定します。 電源の接続

!ご注意

AC アダプター(スタンドに収納済み)、および電源 コードは、必ず付属のものを使用してください。

1. 付属の電源コードをACアダプターに差し込む。

2. 電源プラグを AC100V コンセントに差し込む。



接続・電源入 / 切

電源の入れかた

- 1. モニターの電源ボタンを押す。
- コンピュータの電源を入れる。
 電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。
 (電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し
 時間がかかることがあります。)



本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの 設定を変更したときは、画面の自動調整(12ページ) を行ってください。

ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と 同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場 合は、本機でのみの表示となるように設定してくだ さい。

電源の切りかた

- 1. コンピュータの電源を切る。
- 2. モニターの電源ボタンを押す。
 電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、コンセントから電源プラ グを抜いてください。

? Memo

電源ボタンで電源を切っても、電源コードを抜く か、コンピュータの電源を切るまでは、タッチパネ ルの動作は継続します。

タッチパネルの使用準備

タッチパネル用ドライバソフトのインストール

対応OS:Windows95/98/2000/Me/XP

- 1. 使用中のすべてのアプリケーションを終了する。
- 2. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの フロッピーディスクドライブにセットする。
- 3.「マイコンピュータ」の「3.5 インチ FD(A:)」を開く。
- 4. ご使用の OS に合ったドライバソフトを選ぶ(ダブ ルクリック)。 Windows95/98/Me 用:mm9xv3

Windows2000/XP用: mm2kxp

- 5. 解凍先フォルダを選び、「OK」をクリックする。
- 6.以降、画面に表示される「このファイルを必ずお読みください。」(解凍先フォルダ内のreadme)に従って、インストールを行う。 動作環境や制限事項等も併せてご確認ください。

アンインストール

- 1. 使用中のすべてのアプリケーションを終了する。
- 2.「スタート」-(「設定」-)「コントロールパネル」を選ぶ。
- アプリケーションの追加と削除」で、Windows95/ 98/Meの場合は「Elo MonitorMouse for Windows 95/98」、Windows2000/XPの場合は 「MonitorMouse for Windows 2000」を選んで 削除する。

タッチパネルの操作について

タッチパネル上は、指先で操作してください。

? Memo

指以外の柔らかいものが触れても入力されることが あります。

接触面積が大きい場合(手のひらで押す等)、正しく 入力できないことがあります。

爪、ペン、鉛筆等の硬いものでは入力できません。 コンピュータがシステムスタンバイ状態のときは、 タッチパネルを押しても復帰できません。復帰に は、マウスやキーボードをご使用ください。 EXPAND(画面拡大)を切り替えると、位置指定が ずれることがあります。その場合は、再度、位置指 定を行ってください。

画面調整について

1. 初めに自動調整をする。(12 ページ)

2. 必要に応じて手動調整をする。(13ページ)

? Memo

調整内容は、電源を切っても保持されます。(ただし、 調整メニューの表示中に電源を切った場合は、保持 されないことがあります。)

調整値のリセット

ADJUSTMENT メニューのリセット 調整メニュー中の ADJUSTMENT メニューの調整値 を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

- 1.本機の電源を入れる。
- 2.MENU ボタンと ◀ ボタンの両方を押す。 画面に「RESET」と表示されて、リセットが完了し ます。

調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことがで きます。

- 1.本機の電源を切る。
- 2. MENU ボタンと SELECT ボタンの両方を押しな がら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。 画面に「ALL RESET」と表示されるまで押し続けて ください。

「ALL RESET END」が表示されたら、リセットが 完了します。

3. リセット完了後、いったん電源を切る。

? Memo

「ALL RESET」の表示中は、操作ボタンは効きません。

調整ロックが設定されている場合、オールリセット はできません。調整ロックを解除してから操作して ください。

調整ロック機能

操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内 容の変更を防ぐことができます。

- 1.本機の電源を切る。
- MENUボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
 画面に「ADJUSTMENT LOCKED」と表示される までボタンを押し続けてください。
 「ADJUSTMENT LOCKED」と表示されたら、
 ロック設定が完了します。

ロック設定の解除

- 1.本機の電源を切る。
- MENUボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電 源を入れる)。
 画面に「ADJUSTMENT UNLOCKED」と表示され るまで、ボタンを押し続けてください。
 「ADJUSTMENT UNLOCKED」と表示されたら、 ロックが解除されます。

? Memo

ロック設定をすると、電源ボタン以外のボタンは効 かなくなります。

バックライトの明るさ調整

調整メニューが表示されていない状態で操作します。 調整メニューが表示されている場合は、MENUボタ ンを押して(場合によっては数回)、調整メニューを消 してから操作してください。

1.調整メニューが表示されていない状態で、
 ◆ ボタンを押す。



4ボタン(暗くする)、▶ボタン(明るくする)を押して調整する。
 調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自

調整用の表示は、最後のホタン操作から数杪後に目 動的に消えます。

画面調整

画面の自動調整

ADJUSTMENT メニューの CLOCK(クロック)、 PHASE(位相)、H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位 置)を自動的に調整します。

? Memo

本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの 設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を 行ってください。

自動調整のための画面表示について

付属のアプリケーションディスクの調整用パターンを 利用して、画面の自動調整を行います。

調整用パターンを利用しない場合は、画面全体が明る くなるような画像を用意してください。

調整用パターンの呼び出しかた

フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説 明します。

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- 2.「マイコンピュータ」の「3.5 インチ FD(A:)」を開く。
- 3.「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プ ログラムを起動する。

調整用パターンが表示されます。



調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

? Memo

使用するコンピュータの表示モードが6万5千色の 場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見え たり、グレースケールが色付きに見えることがあり ます。(入力信号の仕様によるもので、故障ではあ りません。)

- 自動調整のしかた
- 1. MENU ボタンを押す。 ADJUSTMENT メニューが表示されます。

ADJUSTMENT	
MANUAL	AUTO
CLOCK PHASE H-POS V-POS	127 29 200 41
1024x768	V:60Hz H:48.4kHz

- 2. ▶ ボタンを押して「AUTO」を選択する。 画面が黒くなり、「ADJUSTING」と表示され、数秒 後に ADJUSTMENT メニューに戻ります。 (これで自動調整は完了です。)
- MENU ボタンを 4 回押して、調整メニューを消 す。

? Memo

通常は、自動調整だけでご使用いただけます。 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調 整(13ページ)を行ってください。

- ・さらに微調整が必要なとき
- ・コンピュータからの信号がコンポジット・シンク
 やシンク・オン・グリーンのときなど(自動調整
 では、正しく調整できないことがあります。)
- ・「OUT OF ADJUST」と表示されたとき(画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)

画面の手動調整

用意されている調整メニューを利用して、画面の調整 をします。

調整のための画面表示について

付属のアプリケーションディスクから調整用パターン を呼び出してください。(12ページ)

調整用パターンを利用しない場合は、画面全体が明る くなるような画像を用意してください。

本書では、調整用パターンを利用した調整のしかた を基本に説明します。

手動調整のしかた

1.MENU ボタンを押す。

ADJUSTMENT メニューが表示されます。

ADJUSTMENT	
MANUAL	AUTO
CLOCK PHASE H-POS V-POS	127 • • 29 • • 200 • • 41 • •
1024x768	V:60Hz H:48.4kHz

以降、必要な項目を調整します。

MENUボタンを押すごとに、次のメニューに切り替 わります。(ADJUSTMENT GAIN CONTROL WHITE BALANCE MODE SELECT メニュー 表示消)

? Memo

調整メニューは、最後のボタン操作から約30秒後 に自動的に消えます。

ADJUSTMENT メニュー

ADJUSTMENT	
MANUAL	AUTO
CLOCK PHASE H-POS V-POS	127 • • 29 • • 200 • • 41 • •
1024x768	V:60Hz H:48.4kHz

MANUAL 必要な項目を手動で調整します。 AUTO 各項目を自動的に調整します。

▶ボタンを押すと、「AUTO」の選択になります。 項目の選択 : SELECTボタン 次のメニューへ: MENUボタン

CLOCK(クロック)

下図の部分に縦縞状のノイズが出ないように調整し



PHASE(位相)

下図の部分に横縞状のノイズが出ないように調整し

ます。(◀ 🕨 ボタン)

「PHASE」の調整は、必ず「CLOCK」を正しく調 整したあとで行ってください。



H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位置)
 調整パターンの全体が画面内に表示されるように、
 左右(H-POS)、上下(V-POS)の位置を調整します。

(◀ ▶ ボタン)



画面調整

GAIN CONTROL メニュー								
	GAIN CONTROL							
	MANUAL	AUTC						
	BLACK LEVEL CONTRAST	20 - 140 -	¥*					
	1024x768	V:60Hz	H:48.4kHz					

MANUAL 必要な項目を手動で調整します。

AUTO ……… オートゲインコントロール機能 * で、 「BLACK LEVEL」「CONTRAST」を 自動調整します。自動調整後、必要 に応じて手動調整してください。

▶ボタンを押すと、「AUTO」の選択になります。 項目の選択 : SELECTボタン 次のメニューへ: MENUボタン

- *オートゲインコントロール機能
- ・画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に、
 黒レベル、コントラストが調整されます。調整パターンを利用しないときは、5mm×5mm以上の
 白色と黒色が表示されている必要があり、表示がない場合は正しく調整できないことがあります。
- ・コンピュータからの信号がコンポジット・シンクや
 シンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができ
 ないことがあります。その場合は、手動で調整してください。
- BLACK LEVEL(黒レベル)

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調 整します。(**●** ボタン)



CONTRAST(コントラスト)

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示さ れるように調整します。(◀ ▶ ボタン)

WHITE BALANCE メニュー

WHITE BALANCE						
COOL · STD · WARM · USER						
R-CONTRAST G-CONTRAST B-CONTRAST						
1024x768 V:60Hz H:48.4kHz						

「STD」以外では、すべての階調を表示すること はできません。すべての階調を表示したいとき は、「STD」に設定してください。

▲▶ ボタンで「COOL」「・」「STD」「・」「WARM」 「USER」を選びます。

「USER」を選ぶと、「R-CONTRAST」、「G-CONT RAST」、「B-CONTRAST」の設定値が表示され、 微調整ができます。

SELECT ボタンで「R-CONTRAST」「G-CONT RAST」「B-CONTRAST」を選びます。

次のメニューへ:MENU ボタン

- COOL …… 標準設定よりも青みがかった色合い ……… 標準設定よりもやや青みがかった色合い
- STD 標準設定

....... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い

WARM … 標準設定よりも赤みがかった色合い USER

R-CONTRAST … ◀ ボタンで青緑色、

▶ ボタンで赤色

G-CONTRAST ... ◀ ボタンで紫色、

▶ ボタンで緑色

B-CONTRAST ... ◀ ボタンで黄色、

▶ ボタンで青色



入力信号の解像度によっては、項目の選択ができ ても、表示状態が変わらないことがあります。

- 項目の選択 : SELECT ボタン
- 調整終了 : MENU ボタン
- OSD H-POSITION(OSD 画面水平位置)
 - 調整メニューの表示位置を左右に動かします。

(◀ ▶ ボタン)

OSD V-POSITION(OSD 画面垂直位置) 調整メニューの表示位置を上下に動かします。

(◀ ▶ ボタン)

400 LINES(解像度)
PC9800シリーズやUS TEXT等の400ライン
画面の水平解像度を設定します。(▲ ▶ ボタン)
640.....640×400ドットモード (PC9800シリーズなど)
720.....720×400ドットモード (US TEXT など)
400ライン以外の解像度の入力に対しては自動 検出が行われますので、設定の必要はありませ ん。

EXPAND (画面拡大)

- 1024 × 768 ドット未満の表示モードの内容に対
- して、拡大表示の選択をします。(◀ ▶ ボタン) ON1 … ほぼアスペクト比(縦横比)固定で拡大する ON2 … 画面全体に拡大する 拡大しても 1024 × 768 ドットにならない解像 度の場合、画面の周囲が黒く表示されます。(故 障ではありません。)

SCALING(拡大補正レベル) 拡大表示時の画像のシャープさを調整することがで きます。(◀ ▶ ボタン) COLOR MODE(カラーモード)

表示の色合いを設定することができます。(◀ ▶ ボタン)

- STD.....液晶モニター本来の色合いを活かした 表示になります。
- sRGB.. IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国 際規格です。液晶の特性を考慮した色 変換が行われ、原画像に基づいた色合 いでの表示になります。
- 「COLOR MODE」を「sRGB」にする場合は、 「WHITE BALANCE」を「STD」に設定してくだ さい。

LANGUAGE

調整メニューの言語を変更することができます。

1) ▶ ボタンを押す。

言語選択メニュー(LANGUAGE)が表示されます。

- 2) SELECT ボタンで言語を選択する。
- 3) MENU ボタン、または ▶ ボタンを押す。
 言語選択メニューが消えます。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜 いてください。

キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔ら かい布で軽く拭き取ってください。 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗 剤に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。

タッチパネル部分

タッチパネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らか い布で軽く拭き取ってください。(レンズクリーナー やガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。)

!ご注意

キャビネットや操作パネル部分の清掃時は、シン ナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナー等 を絶対に使用しないでください。変色や変形の原因 になります。

硬いものでこすったり、強い力を加えないでくださ い。傷が付いたり、故障の原因になります。

? Memo

本機で使用している蛍光管には水銀が含まれていま す。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規 則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問 い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセン トから抜いてください。

!ご注意

ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させない でください。変色や変形の原因になります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次の点 をご確認ください。それでも正常に動かないときは、 お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓 口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないと きは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよ りのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。 ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラ つくことがあります(故障ではありません)。 その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直し てご確認ください。

画面に何も表示されない(電源ランプ消灯) 電源コードが正しく接続されていますか。(8 ページ)

画面に何も表示されない(電源ランプ点灯) コンピュータと正しく接続されていますか。(8ページ) コンピュータの電源が入っていますか。 コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っ ていますか。(20ページ) コンピュータの省電力機能が動作していませんか。

画面が乱れている コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っ ていますか。(20ページ) 画面自動調整を行ってください。(12ページ) お使いのコンピュータで垂直周波数が変更できる場 合は、低い周波数に変えてみてください。

操作ボタンが効かない 調整ロックが設定されていませんか。(11ページ)

操作ボタンを押しても目的の画面調整に移れない 画面調整の途中の場合、そのまま別の調整に移るこ とはできません(いったん調整中の表示が消えます)。 もう一度、同じボタンを押してみてください。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

タッチパネルで入力できない

シリアル接続ケーブルが正しく接続されています か。(8ページ)

ドライバソフトがインストールされていますか。(10 ページ)

接触面積が大きい場合(手のひらで押す等)、正しく 入力できないことがあります。

爪、ペン、鉛筆等の硬いものでは入力できません。 水滴が付着していませんか。乾いた柔らかい布で、 水滴を拭き取ってください。

アフターサービスについて

製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売 窓口にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、 内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。 保証期間はお買いあげの日から1年間です(ただし、光 源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりませ ん)。保証期間中でも有料になることがありますので、 保証書をよくお読みください。 保証期間後の修理は、お買いあげの販売店にご相談く

ださい。修理によって機能が維持できる場合は、ご要 望により有料修理いたします。

補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打 切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、 その製品の機能を維持するために必要な部品のことで す。

修理を依頼されるときは

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を「お持ち込み」のうえ、修理をお申し付けください。

ご自分での修理はしないでください。たいへん危険で す。

アフターサービスについてわからないことは、お買い あげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお 問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記 のご相談窓口へご連絡ください。

電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2003年11月現在)

修理ご相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

< 受付時間 > 月曜日~土曜日:午前9時~午後5時40分(日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

北海道	札幌技術センター (011)641-0751	神奈川	横浜技術センター (045)753-9540	和歌山	和歌山技術センター (073)445-6298
	〒 063-0801 札幌市西区二十四軒 1 条 7-3-17		〒 235-0036 横浜市磯子区中原 1-2-23		〒 641-0031 和歌山市西小二里 2-4-91
	釧路 (0154)24-8191		相模原技術センター (045)753-9540	島根	松江技術センター (0852)21-6110
	〒 085-0051 釧路市光陽町 8-13		〒 229-1122 相模原市横山 2-2-12		〒 690-0017 松江市西津田 3-1-10
	函館 (0138)52-5190		湘南技術センター (045)753-9540	鳥取	鳥取 (0857)28-4222
	〒040-0001 函館市五稜郭町31-17		〒254-0013 平塚市田村1381		〒680-0942 鳥取市湖山町東 4-27-1
	帯広 (0155)21-2881	長野	松本技術センター (0263)27-1636	岡山	岡山技術センター (086)292-5830
	〒080-0011 帯広市西1条南26-19-1		〒399-0002 松本市芳野 8-14		〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾 828
	旭川技術センター (0166)22-8284		長野技術センター (026)293-6360	広島	広島技術センター (082)874-6100
	〒070-0031 旭川市一条通4-左10		〒388-8014 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1		〒731-0113 広島市安佐南区西原 2-13-4
きしち きちん きちん きちん きちん しちん きちん きちん きちん きちん きちん きちん きちん きちん しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう きちん しんしょう きちん しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう きちん きちん しんしょう きちんしょう きちんしょう きちんしょう きちんしょう きちんしょう きちんしょう しんしょう きちんしょう しんしょう しんしょ しんしょ	青森技術ヤンター (017)738-7778	富山	富山技術センター (076)451-3933		東広島 (0824)28-3065
1 3 111	〒030-0121 青森市妙見 3-3-4		〒930-0997 富山市新庄北町 5-63		〒739-0142 東広島市八本松東 4-3-30
	八戸 (0178)45-2631	石川	金沢技術センター (076)249-9033		福山技術センター (084)952-0736
	〒031-0802 八戸市小中野 2-8-16	H (1)	〒921-8801 石川郡野々市町御経塚 4-103		〒720-0841 福山市津之郷町大字津之郷 272-1
岩手	岩手技術センタ- (019)638-6085	福井	福井 (0776)53-6050	ШП	山口技術センター (083)972-4525
ц,	〒 020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南 3-1-1	1471	〒918-8206 福井市北四ツ居町 625	41	〒754-0024 吉敷郡小郡町若草町 4-12
秋田	秋田技術ヤンター (018)865-1258	岐阜	岐阜技術ヤンター (0.58)274-7996	香川	高松技術センター (0.87)823-4980
MA	〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-56		〒500-8358 岐阜市六条南 3-12-9	ш/п	〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
宮城	仙台技術センター (022)288-9161	静岡	静岡技術ヤンター (0543)44-5621	徳島	德島 (088)625-8840
ш- <i>л</i> м	〒 984-0002 仙台市若林区卸町東 3-1-27	1111	〒424-0067 静岡市清水島坂 1170-1	10,100	〒770-0813 徳島市中常三島町 3-11-14
福島	福島技術センター (024)946-0196		沼津 (0.5.5.9)24-10.2.8	高知	高知 (0.8.8).8.8.3-7.0.3.9
	〒 963-0111 郡山市安積町荒井字方八丁 33-1		〒410-0062 沼津市宮前町11-4	1-97-14	〒781-8104 高知市高須1-14-43
	いわき (0246)28-2487		浜松技術センター (053)465-0735	愛媛	松山技術センター (089)973-0121
	〒 970-8033 いわき市自由ケ斤 37-10		〒430-0803 浜松市植松町1476-2	~~~	〒791-8036 松山市高岡町178-1
新潟	新潟技術センター (025)284-6023	愛知	名古屋技術センター (052)332-2758	福岡	福岡技術センター (092)572-2617
	〒 950-0993 新潟市上所中 1-7-21	~~~	〒454-0011 名古屋市中川区山王 3-5-5	1941 3	〒816-0081 福岡市博多区井相田 2-12-1
	長岡 (0258)23-1850		豊橋技術センター (0532)54-1830		南福岡 (0942)45-4551
	〒940-1104 長岡市摂田屋町字崩2600		〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1		〒839-0812 久留米市山川安居野 3-12-47
栃木	宇都宮技術センター (028)634-0256		岡崎 (0564)25-0611		北九州技術センター (093)592-6510
	〒320-0833 宇都宮市不動前 4-2-41		〒444-0065 岡崎市柿田町 1-21		〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 6-12
群馬	前橋技術センター (027)252-7311	三重	三重技術センター (059)231-1573	大分	大分技術センター (097)552-2164
	〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7		〒 514-0102 津市栗真町屋町字蒲池 328		〒870-0913 大分市松原町3-5-3
茨城	水戸技術センター (029)243-0909	京都	京都技術センター (075)681-9551	長崎	長崎技術センター (0957)53-3858
	〒310-0851 水戸市千波町1963		〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48		〒856-0817 大村市古賀島町 613-3
埼玉	埼玉技術センター (048)666-7148		北近畿 (0773)23-6996	熊本	熊本技術センター (096)372-1251
•	〒330-0038 さいたま市宮原町 2-107-2		〒 620-0054 福知山市末広町 6-13		〒862-0975 熊本市新屋敷 3-15-17
	埼玉東技術センター (048)979-6459	滋賀	滋賀技術センター (077)543-2331	鹿児島	鹿児島技術センター (099)259-0628
	〒343-0804 越谷市大字南萩島346-1		〒 520-2151 大津市栗林町 11-35		〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1
千葉	千葉技術センター (043)299-8855	大阪	大阪フィールドサポートセンター	宮崎	宮崎 (0985)28-8371
	〒261-8520 千葉市美浜区中瀬 1-9-2		カスタマシステム技術部 (06)6796-5430		〒880-0007 宮崎市原町 4-12
	西千葉技術センター (047)368-8346		〒 547-8510 大阪市平野区加美南 3-7-19		
	〒 270-2231 松戸市稔台 295-1		堺技術センター (072)245-5855		
東京	東京フィールドサポートセンター		〒 590-0824 🔍 堺市老松町 1-39		
	第1技術センター (03)3260-5253		北大阪技術センター (072)634-4683		
	〒 162-8408 東京都新宿区市谷八幡町 8		〒 567-0831 茨木市鮎川 5-15-3		
	第2技術センター (03)3624-7476	兵庫	神戸技術センター (078)452-1762		
	〒 130-8610 東京都墨田区石原 2-12-3		〒 658-0082 神戸市東灘区魚崎北町 1-6-18		
	第3技術センター (03)3973-7789		阪神技術センター (06)6421-2304		
	〒 174-0074 東京都板橋区東新町 1-33-11		〒 661-0981 応崎市猪名寺 3-2-10		
	西東京技術センター (042)583-1993		姫路技術センター (0792)66-8295		
	〒191-0003 日野市日野台 5-5-4		〒 671-2222 姫路市青山 5-7-7		
山梨	山梨 (055)228-3833	奈良	奈良技術センター (0743)53-2023		
	〒 400-0049 甲府市富竹 2-1-17		〒 639-1103 大和郡山市美濃庄町 492		

沖縄シャ - プ電機株式会社

< 受付時間 > 月曜日~金曜日:午前9時~午後5時40分(土・日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。) 沖縄 沖縄シャ-プ電機(株) (098)861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

シャープ製品に対するご意見・ご要望やお問い合わせは、下記ご相談窓口へ

お客様相談センター(一般ご相談窓口)

シャープ株式会社

< 受付時間> 月曜日~土曜日:午前9時~午後6時 日曜日・祝日:午前10時~午後5時(年末年始を除く) 東日本相談室 電話(043)299-8021 FAX 043-299-8280 〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2 西日本相談室 電話(06)6794-8021 FAX 06-6792-5993 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

仕様

製品仕様

液晶表示素子 15型(対角 38cm)

- アドバンスト・スーパー V 液晶 最大解像度
- XGA 1,024 × 768
- 最大表示色

約 1,677 万色(8 ビット)

最大輝度

190cd/m²

画素ピッチ

水平 0.297mm ×垂直 0.297mm

- コントラスト比
- 350:1

視野角

左右 170°/上下 170°

表示画面サイズ

橫 304.1mm ×縦 228.1mm

入力映像信号

アナログ RGB(0.7 Vp-p)[75]

入力同期信号

水平 / 垂直セパレート(TTL:正/負)、シンク・オ ン・グリーン、コンポジットシンク(TTL:正/負)

拡大補正

デジタルスケーリング(VGA/SVGA 等を補正して 拡大表示) [アスペクト比固定、全画面]

プラグ&プレイ

VESA DDC1/DDC2B 対応

パワーマネージメント

VESA DPMS 準拠

入力端子

ミニ D-sub15 ピン(3 列)

画面角度調整

チルト:上向きに0~約30°

スイーベル:左右に合わせて約90°

タッチパネル方式

超音波表面弹性波方式

タッチパネル透過率

89%

- タッチパネル PC 接続端子
- シリアルコネクタ D-sub9 ピン(2 列)

電源

AC100V 50/60Hz (専用 AC アダプター使用) 使用温度条件

5 ~ 35 (結露なきこと)

消費電力

最大28W(待機時4.5W)(専用ACアダプター使用)

外形寸法

幅 370mm × 奥行 215mm ×高さ 376mm 質量

約 6.1kg (AC アダプター、アナログ信号ケーブ ル含む)

外形寸法図 (単位mm)





アナログ信号ケーブル長 :約2.0m アナログ信号入力端子からの長さ 専用ACアダプターと電源コード:



幅約125mm×奥行約60mm×高さ約33mm シリアル接続ケーブル:約2.0m

対応信号タイミング

表示モード		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
·IBM AT		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
互換機		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz

推奨解像度は、1024 × 768 です。

すべてノンインターレースのみの対応です。 本機で対応していない信号タイミングが入力された 場合、「OUT OF TIMING」と表示されます。その場 合は、ご使用のコンピュータの取扱説明書にもとづ き、本機で対応している信号タイミングに設定して ください。

本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「NO SIGNAL」と表示されます。

アナログ信号入力端子のピン配列

番号	機能	番号	機能				
1	赤映像信号入力	9	DDC/VCC				
2	緑映像信号入力	10	GND				
3	青映像信号入力	11	N.C.				
4	N.C.	12	DDCデータ				
5	GND	13	水平同期信号用入力				
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力				
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック				
8	青映像信号用GND						

シリアルコネクタのピン配列

(D-sub 9ピン)

	$\bigcirc \underbrace{\left(\begin{array}{cccc} (1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 6 & 7 & 8 & 9 \end{array}\right)}_{6} \bigcirc \bigcirc$					
	機	能	番号		機	能
-		11-1-1	6	ľ		

田与	1茂 月上	田与	1茂 月上
1	キャリア出力	6	データセット出力
2	送信データ出力	7	送信要求入力
3	受信データ入力	8	送信可能出力
4	データ端末レディ入力	9	未使用
5	GND		

パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、Energy Star に準拠してい ます。

本機のパワーマネージメント機能を動作するために は、ビデオカードやコンピュータも同規格に適合して いる必要があります。

DPMS (Display Power Management Signaling)

DPMSŦード	画面	消費雷力	水平同期	垂首同期
ON STATE	表示	28W	あり	あり
STANDBY	無表示	5 4.5W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

Energy Star



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業 者として、本製品が国際エネルギースタープログラ ムの基準に適合していると判断します。

『国際エネルギースタープログラムは、コンピュー タをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推 進のための国際的なプログラムです。このプログラ ムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能 を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもの で、事業者の自主判断により参加することができる 任意制度となっています。対象となる製品はコン ピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ および複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準 ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されて います。』

DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESAのDDC(Display Data Channel)規 格をサポートしています。

DDCとは、モニターとパソコンのプラグ&プレイを 行うための信号規格です。モニターとパソコンの間で 解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能 は、パソコンが DDC に対応しており、プラグ&プレ イモニターを検出する設定になっている場合に使用で きます。

DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類が あります。本機は、DDC1とDDC2Bに対応してい ます。

(ミニD-sub 15ピン)

포미

セットアップ情報とICC プロファイルについて(Windows)

ご使用のコンピュータやOSによっては、コンピュー タ側で本機のセットアップ情報の格納等の操作が必要 になることがあります。その場合は、下記の手順で セットアップ情報の格納を行ってください。(ご使用 のコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が 異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と 併せてお読みください。)

ICC プロファイルとは...

ICC(International Color Consortium)プロファイル は、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルで す。ICC プロファイルに対応したアプリケーションに おいて、表示色と印刷色の再現性を高めます。

ICC プロファイルは、Windows98/2000/Me/ XP に対応しています。

Windows98/2000/Me/XP でセットアップ情報 の格納を行うと、ICC プロファイルも格納されま す。ICC プロファイルだけを格納したいときは、 23ページの「ICC プロファイルの格納」をご覧くだ さい。

ICC プロファイルを使用する場合は、「WHITE BALANCE」を「STD」に、「COLOR MODE」を 「STD」に設定してください。

セットアップ情報の格納

Windows95の場合

Windows95 に本機のセットアップ情報を格納します。

フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説 明します。

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コント ロールパネル」を選ぶ。
- 3.「画面」をダブルクリックする。
- 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニ ター」、「変更」の順にクリックする。
 デバイスの選択画面が表示されます。
- 5.「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコ ピー元」が「A:¥」であることを確認して「OK」をク リックする。
- 6.「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示 された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
- 7.本機が表示されていることを確認して、「更新」をク リックする。
- 8.「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

Windows98の場合

Windows98 に本機のセットアップ情報を格納し、本 機のICC プロファイルを既定値として設定します。 フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として 説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- 2. 「次へ」をクリックする。
- 3.「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を チェックし、「次へ」をクリックする。
- モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:¥」であることを確認して「OK」をクリックする。
- 5.「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示 された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」 の順にクリックする。 新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された 場合は、もう一度2.から操作してください。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コント ロールパネル」を選ぶ。
- 3. 「画面」をダブルクリックする。
- 4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
- 5.「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを 自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリック する。
- 6.「次へ」をクリックする。
- 7.「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成 し、インストールするドライバを選択する」を チェックし、「次へ」をクリックする。
- 9.「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示 された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」 の順にクリックする。
- 10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をク リックする。
- 11.「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

Windows2000の場合

Windows2000 に本機のセットアップ情報を格納し、 本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。 フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説 明します。

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コント ロールパネル」を選ぶ。
- 3.「画面」をダブルクリックする。
- 4.「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
- 5.「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順に クリックする。
- 6.「デバイスドライバのアップグレードウィザードの 開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
- 7.「このデバイスの既知のドライバを表示して、その 一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリック する。
- モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」が「A:¥」であることを確認して「OK」をクリックする。
- 9.「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示 された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
- 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
 デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。
- 11.「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉 じる。
- 12.「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

WindowsMeの場合

WindowsMeに本機のセットアップ情報を格納し、本 機のICC プロファイルを既定値として設定します。 フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説 明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- 2.「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」 をクリックする。
- 3.「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」を チェックし、「次へ」をクリックする。
- モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」が「A:¥」であることを確認して「OK」をクリックする。
- 5.「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示 された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」 の順にクリックする。 新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された 場合は、もう一度2.から操作してください。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コント ロールパネル」を選ぶ。
- 3.「画面」をダブルクリックする。
- 4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
- 5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを 自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリック する。
- 6.「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」 をクリックする。
- 7.「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」を チェックし、「次へ」をクリックする。
- モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」が「A:¥」であることを確認して「OK」をクリックする。
- 9.「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、表示 された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」 の順にクリックする。
- 10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をク リックする。
- 11.「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

WindowsXPの場合

WindowsXP に本機のセットアップ情報を格納し、本 機の ICC プロファイルを既定値として設定します。 フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説 明します。

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネ ル」を選ぶ。
- 3. クラシック表示にする。
- 4.「画面」をダブルクリックする。
- 5.「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
- 6.「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順に クリックする。
- 7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら、「一 覧または特定場所からインストールする」をチェッ クし、「次へ」をクリックする。
- 8.「検索しないで、インストールするドライバを選択 する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
- 9.「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルの コピー元」を「A:¥」にして「OK」をクリックする。
- 10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリック する。

「Windows ロゴテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

- 11. 本機が表示されていることを確認し、「完了」をク リックする。
- 12.「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉 じる。
- 13.「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。

ICC プロファイルの格納

本機の ICC プロファイルを格納します。(セットアップ 情報の格納を行った場合は、プロファイルの格納も行 われていますので、この操作は不要です。)

フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説 明します。

- 1. 付属のアプリケーションディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。
- スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コント ロールパネル」を選ぶ。
- 3.「画面」をダブルクリックする。
- 4. 「設定」、「詳細」の順にクリックする。
- 「全般」をクリックし、「互換性」内の「再起動しないで 新しい色の設定を適用する」を選び、「色の管理」をク リックする。
- 6.「追加」をクリックし、ファイルの場所を「3.5 イン チFD(A:)」にする。
- 7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、 「追加」をクリックする。
- 8. プロファイルを選び、「既定値として設定」をクリッ クする。
- 9.「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。

ICC プロファイルを使用する場合は、「WHITE BALANCE」を「STD」に、「COLOR MODE」を 「STD」に設定してください。

製品についてのお問い合わせは				
お客様相談センター	東日本相談室 西日本相談室	TEL 043-299-8021 TEL 06-6794-8021	FAX 043-299-8280 FAX 06-6792-5993) }
《受付時間》 月曜~土曜:午前9時~午後6時 日曜・祝日:午前10時~午後5時 (年末年始を除く)				

修理のご相談は

18ページ記載の『ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

シャープホームページ

http://www.sharp.co.jp/crisia/

(2004年3月現在)

·//+-7/。株式会社

 本
 社
 〒545-8522
 大阪市阿倍野区長池町22番22号

 情報通信事業本部
 〒639-1186
 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地